

林芙美子は、昭和5年から亡くなるまでの約20年間を新宿落合で暮らした新宿ゆかりの作家です。旅を愛し、詩を心の拠り所とし、「吾古里」を希求し続けた47年の生涯は、限りない向上心と文学への執着をもって片道切符で前進する「旅」そのものでした。

本展では、友人で作家の井伏鱒二がパリ滞在中の芙美子へ送った書簡の「節」心をシヤンとして、旅人で、詩人で、傑作書きで、けなげに日本にお帰り下さい」から、「旅人・詩人・傑作書き」をキーワードとし、多面的な視点から作家としての実像に迫ります。

芙美子にとって旅は、書き続けていくためのもの、そして生きるためのもの、詩は、「心の独白」を表現するためのものでした。逆境の中で自分を見失わず、時代に向き合いながら作品を書き続け、激動期を逞しく駆け抜けた稀有な作家です。

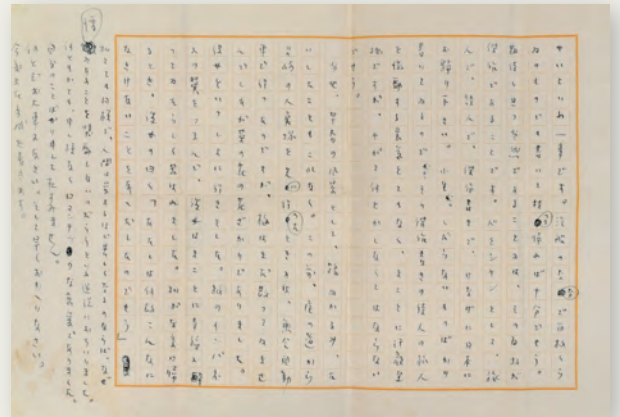
遺された原稿類、書簡、初版本、遺愛品、写真、そしてふるさと落合での暮らしを通して、林芙美子の旅と詩と作品をご紹介します。



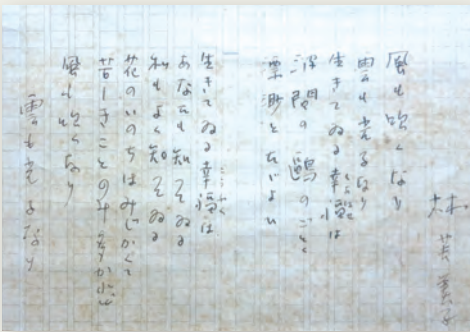
パスポート 昭和6年(1931)取得
新宿歴史博物館蔵



『放浪記』『続放浪記』改造社 昭和5年(1930)
新宿歴史博物館蔵



井伏鱒二より林芙美子あて書簡
昭和7年(1932)2月23日 新宿歴史博物館蔵
「旅人で、詩人で、傑作書きで...」の一节が書かれている。



林芙美子の詩稿「風も吹くなり...」
東洋英和女学院史料室蔵



落合の自宅で 息子泰と
新宿歴史博物館蔵

表面/文様:帯(林芙美子遺愛品)を圖案化したもの・万年筆(林芙美子遺愛品)※共に新宿歴史博物館蔵

関連イベント ※全て要申込

■ 記念講演会

講師:小池昌代氏(詩人)
日時:10月29日(日)14時~16時/料金:1,000円

■ 特別講演会

講師:井上荒野氏(作家)
日時:11月3日(金祝)14時~15時/料金:1,000円

■ 歴史講座「昭和(戦前・戦後)の作家たち—林芙美子を中心に—」

講師:平浩一氏・村岡恵理氏・紅野謙介氏 ※全3回の連続講座
日時:11月11日(土)・18日(土)・25日(土)14時~16時/料金:全2,500円

■ 朗読音楽会

「林芙美子のふるさと落合と旅に思いを巡らす日」
10月7日(土)14時~16時/料金:1,000円
出演:新宿歴史博物館ボランティアガイド朗読の会 ふみのしおり
磯絵里子(ヴァイオリン)、北村哲朗(バリトン)、
山元香那子(ピアノ)

そのほか、新宿歴史博物館・林芙美子記念館・太宰治展示室 三鷹のこの小さい家の3館を対象としたスタンプラリー等を開催。お申込み方法等詳しくは新宿歴史博物館ホームページをご覧ください。



新宿区立
新宿歴史博物館
Shinjuku Historical Museum
Tel.03-3359-2131 / Fax.03-3359-5036
指定管理者:公益財団法人新宿未来創造財団

<https://www.regasu-shinjuku.or.jp/rekihaku/>

JR・東京メトロ丸ノ内線・南北線「四ツ谷駅」下車……徒歩10分
東京メトロ丸ノ内線「四谷三丁目駅」下車……徒歩8分
都営地下鉄新宿線「曙橋駅」下車……徒歩8分

※社会状況により、記載内容に変更が生じる場合があります。最新の情報を当館のウェブサイトにてご確認ください。皆さまのご理解とご協力をお願いいたします。

